

		音 楽 研 究 会			部 会 記 録	
日時		令和4年 3月9日（水） 15：30～15：45				
部会名		研修部 授業実践会			主任	森野 淳
参加数		23名	司会	森野 淳	記録	小松 亜紀
研 修 内 容	場所：オンライン開催					
	【年間のまとめ】					
	① ロイロノートの活用					
	リコーダーの演奏提出に活用が多数。					
	振り返りカード、音楽づくり等にも活用できた。					
	合奏の学習で、パート別範奏を配布する。個に寄り添う学びに有効だった。					
	卒業式の歌の練習のために、音源の配布をする。今月の歌も同様にロイロで各担任に送るとCD要らずになる。					
	Q：この記録はずっと残るのか？					
	自分のIDで入る限りはずっと残っていく。ポートフォリオとして活用できたりするので小中の学びの足あととしても前向きに活用したい。					
	注意点としては、ロイロノートはアップデートをすること。エクスポート・インポートが表示される。「送る」の機能を使うことで、自分の作ったテキストカードなどを自分のちがう教科のノートに送ることが可能。					
教職員の市内異動でも、ロイロノートは学校によって、ロイロノートスクールアカウント or Google アカウント のどちらかを使用しています。（本来、どちらでも使える）						
さらに、ロイロアカウントは学校ごとのIDとなる。詳しくは視聴覚部へ。						
② ガレージバンド						
4年生音楽づくり「音階を使って音楽づくり」鍵盤からマイナーペンタトニックに設定を変えて音階の音の設定をして音楽づくりをした。						
Q：鍵盤の「ド」をわからせるためには？						
A：「iPad木琴」というサイトは階名付きの木琴が出てくる。						
③ ミニキーボードの活用						
(メリット)						
鍵盤ハーモニカより音が小さいので低学年の教室音楽や、高学年の音づくりではやりやすい。						
イヤホンをつけられるので、刺激があると集中できない子どもには良い。						
(デメリット)						
電池を消耗する。故障（接触不良）も多い。出力ボリュームが低い。						
Q：あゆみの表記は？						
「鍵盤」で統一。						
④ 歌唱活動について						
これもロイロで提出可能。						
重なり合いについては、時期を待つしかないところもある。						
⑤ 鑑賞【タイムバービデオについて】						

バーが動くことにより、視覚的に曲の流れがわかるアイテム。

(1) 基本シートが必要。(希望者は個別に対応)

(2) オーディオから音源ファイルを選択、挿入する。

(3) 場面ごとに分割し、色付けをしていく。

(4) ビデオに書き出して、ipad 等にエアドロップ可。

⑥ 来年度の授業実践部会

「明日すぐに使ってみたいもの!!」のネタ集めをしたい。掲示物紹介など。

導入の部分は早い時期に研修を行いたい。

⑦ その他

・阿久和小学校の活動例

音楽集会のかわりに「阿久和ミュージックエンターテイメント」と称してクラスの合唱や合奏などを、お昼の放送に流す。

・教育出版「小学音楽デジタルコンテンツ (学校フリーライセンス 各学年 11,000 円税込み)」のお知らせ。楽器の演奏方法が入っているので低学年にもわかりやすい。